

飛騨高山観光特集

春の高山は見どころいっぱい!



①安国寺経蔵内部の輪蔵。木造回転式としては日本現存最古のもの(国宝)
②優れた彫刻を特徴とした水間一門による国分寺三重塔(県重文)
③高山祭屋台の見事な彫刻(国指定重要有形民俗文化財)
④吉島家住宅の梁組。近代民家の代表例とされる(国指定重要文化財)



ユネスコ無形文化遺産「高山祭の屋台行事」とともに、飛騨高山にはもう一つの誇れる遺産「日本遺産」がある。

奈良時代の「飛騨工(ひだのたくみ)制度」から脈々とつながる木の文化と歴史を、国宝を含む43の文化財をつないだストーリーを認定する制



日本遺産

日本遺産 飛騨匠の技・まなづ

で語るストーリーだ。タイトルは「飛騨の匠(た

文化財つなぐストーリー

飛騨地域では、木工技術者を都へ派遣して(税)租庸調に充てた飛騨工制度が奈良時代から連続と続いた。高山市は、豊かな自然に恵まれた、木を生かす技術や感性、実直な気風が古代から現代まで受け継がれ、高山の文化の基礎となつていく(教育委員会)という。市内には中世の社寺建築群や近世・近代の大工一門の作品群、伝統工芸など、現在も



ユネスコ無形文化遺産登録・日本遺産認定に寄せて



堀 泰則氏

都会から遠く離れた地「飛騨高山」に住む人々は、古くから中央に慣れ、都や江戸に出て多くの文化を学び、そして吸収し、独自の飛騨高山文化を築いてきました。今、飛騨人は、この地を愛し誇りをもち、そして誰にもこびない頑とした心持ちの中でこの山国に根付き育った文化を守

り、そして次の世代へと引き継ぐことを願って暮らしております。今年、飛騨高山の文化の象徴である「高山祭の屋台(やたい)行事」がユネスコ無形文化遺産に登録され、また、飛騨人のこころの礎が「飛騨の匠(たくみ)の技・まなづ」(当時)キャンペーン「デザインジャパン」心のある「飛騨高山」として全国的に知られるようになり、その魅力を今更に変わらずお届けしてきました。今回の登録及び認定により新たな飛騨高山の魅力をお届けすることができるようになりました。

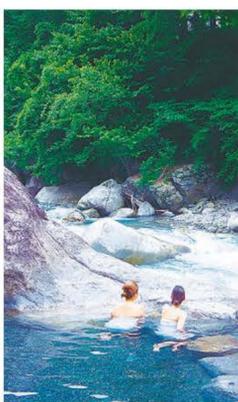
新たな高山の魅力誕生 見学コースづくりを 素敵な感動に出会える

またご紹介ができていない飛騨の匠が建造した神社仏閣、自然豊かな里山風景などの魅力をお伝えできるような見学コースづくりを現在進めております。また、ユネスコ無形文化遺産登録を記念し、「春・秋の高山祭屋台の

奥飛騨温泉郷

飛騨山脈(北アルプス)の麓に広がる奥飛騨温泉郷は、平湯、福地、新平湯、新穂高の五つの温泉地の総称だ。湯量豊富で、温泉地は大小合わせて100カ所以上あり、その数日本一といわれる。また、新穂高ロープウェイや上高地、乗鞍スカイラインなど日本屈指の山岳観光地も近く、雄大な自然を肌で感じることができる。

5温泉地が点在 雄大な山岳風景が魅力 露天風呂は100超



新穂高の湯

日本百名湯の一つになっている。温泉街には朝市もあり、地元の特産品を味わうことができる。新平湯温泉は温泉郷の中心にあり、大型ホテルから和風旅館、民宿までさまざまなタイプがあり、飲食店も多い。奥飛騨名水「たるま水」とたるま姫伝説が残る「縁結びの地」としても知られる。

「湯巡り手形」 奥飛騨温泉郷で売られている湯巡り手形「奥飛騨湯めぐり達人」が宿泊客に好評だ。豊富な湯出量を誇る奥飛騨の温泉を心ゆくまで楽しんでもらうのが狙い。



湯巡り手形



新穂高ロープウェイ

ており、そのマークが三つ出るとオリジナル記念品をプレゼントする「ラッキー特典」を付けている。 温泉郷や手形に関する問い合わせは奥飛騨温泉郷観光協会、☎0578(89)2614。



3つ星街道

3月の21日、東京都内で「北陸・飛騨・信州3つ星街道」が開始され、岐阜県高山市、白川村、石川野原、富山県南砺市、長野県松本市の首長が集まり、3つ星街道の魅力をアピールした。主催は北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会。3つ星街道には五箇山や白川郷、高山祭などの世界遺産はもちろん、フランスの観光ガイド「シユロン・グリー」や「ミシュラン・グリーンガイド」で紹介された沢の兼六園、飛騨高山などがあり、国内屈指の観光スポットとい

国内屈指の観光スポット 都内でもPR

える。外国人観光客にとって「古き良き日本に触れられる」と人気が、訪れる人は増加傾向にある。 セミナーのプレゼンテーションに立った高山市の國島芳

アニメ「氷菓」

アニメ映画「君の名は。」が大ヒットし、舞台モデルとなった飛騨地方には多くの観光客が訪れている。映画のシーンにそっくりの場所を訪れる「聖地巡礼」は、アニメファンばかりでなく、一般の観光客にも人気だ。飛騨高山が舞台となったアニメ「氷菓」だ。岐阜県出身の作家、米澤穂信氏が原作をもとに製作された作品で、高校生の少しミステリアスな日常を描いている。2

高山が舞台、客足増

登場する。高山市商工観光部が12年4月に作った舞台の探訪マップを片手に町を散策する観光客の姿も目立った。

飛騨高山観光特集

世界・日本遺産で魅力度アップ

ユネスコ無形文化遺産 高山祭の屋台行事

江戸時代の面影を残す古い町並が魅力の飛騨高山(岐阜県高山市)。特に春と秋の「高山祭」は屋台の豪華絢爛さが観光客の心を捉えている。その高山祭の屋台行事が昨年12月、ユネスコ(国連教育科学文化機関)の無形文化遺産に登録された。また、飛騨高山の伝統文化は日本遺産にも認定されており、二つの遺産誕生で、飛騨高山の観光はこれまで以上に注目を集めそうだ。



ユネスコ無形文化遺産に登録された高山祭の屋台行事(山王祭)

ユネスコは昨年12月1日、「山・鈴(ほこ)、屋台行事」を無形文化遺産に登録することを決めた。高山祭の屋台行事をはじめ、東北から九州まで18府県の33行事が対象となった。いずれも地域豊かな伝統行事ばかりだ。

岐阜県からは高山祭の屋台行事のほか、古川祭の起し太鼓・屋台行事(飛騨市)と大垣祭の船行事(大垣市)も登録された。

無形文化遺産は芸能や祭り、伝統工芸技術などが対象となり、有形の文化財の保護と継承を目的とした世界遺産とは異なる。日本の無形文化遺産は今回の「山・鈴・屋台行事」のほか、能楽や歌舞伎、和食、和紙など7件がある。



3台の屋台による「奉納」は、人形の劇的な変化やアクロバティックな動きが見事だ。また、14日の夜祭はおよそ100個の提灯を付けた12台の屋台が町をめぐり、宵闇に浮かぶ姿は「また美しい」。

秋の「八幡祭」は北半分の氏神様である松山八幡宮、実りの秋に感謝して開催される例祭。毎年10月9、10日に行われる。

高山祭の屋台行事が世界遺産になったことを記念して、今年4月29日、30日、高山祭の総曳き揃え(主催・ユネスコ無形文化遺産登録記念高山祭屋台の総曳き揃え実行委員会)が行われる。春の高山祭の屋台は、

4月29、30日に 屋台総曳き揃え 55年ぶり

山・鈴・屋台行事は山や鈴などの山車を担いだり曳いたりして街中を練り歩く祭礼のこと。地域の安泰や発展を願い、災いを除きたいという住民の思いが込められている。

高山祭は京都の祇園祭、埼玉・秩父の秩父祭りなどと並び、台が安山通り南側の町に曳き揃えられ、「動く陽明門」といわれる見事な姿を披露する。

特に、宮川に架かる赤色の中橋をゆくりと渡る様子は、とも相まって息をのむほど美しい。

秋の高山祭の屋台の計8台が同じ場所に曳き揃えられるもので、「55年ぶり」の一大イベントと飛騨・高観光コンベンション協会。

会場は春秋の高山祭の祭礼地域内で、29日は16時から曳き揃え、18、21時が夜の屋台曳き揃えとなり、からくり実演が行われる。30日も同じだが、夜の屋台曳き揃えはない。

昨年春、市制80周年を記念して、高山祭屋台を春と秋のからくり屋台と同じ場所で開催した「高山祭屋台からくり曳き揃え」が初めて行われた。今回の総曳き揃えを前に、今年4月29日、30日には、「高山祭屋台の総曳き揃え」を開催し、春と秋の高山祭の全高台23台が同じ場所に曳き揃えられる。

これは、山国「飛騨」ならではの「木をなす」文化が現代に受け継がれてきたストーリーが認定されたもので、ガイドの育成、市内に点在する文化財を周遊していただくためのモデルコースの設定、スマートフォンを利用した情報提供システムの導入など、文化財を活用し観光地へつなげる取り組みが評価されている。

また、昨年「飛騨の匠」夜の高山祭。宵闇に浮かぶ姿もまた格別だ。



総曳き揃えのポスター

ユネスコ無形文化遺産登録・日本遺産認定に 寄せて

市長 國島 芳明氏

高山市に春の訪れを告げる春の高山祭(山王祭)が今年も4月14日・15日の2日間にあわせて開催されます。

この高山祭については、昨年うれしい知らせが届きました。それは、「高山祭の屋台行事」を含む全国の「山・鈴・屋台行事」33件が、ユネスコ

重要な観光資源の一つ 保存、承継に力 文化財活用の観光地に

ユネスコは昨年12月1日、「山・鈴(ほこ)、屋台行事」を無形文化遺産に登録することを決めた。高山祭の屋台行事をはじめ、東北から九州まで18府県の33行事が対象となった。いずれも地域豊かな伝統行事ばかりだ。

岐阜県からは高山祭の屋台行事のほか、古川祭の起し太鼓・屋台行事(飛騨市)と大垣祭の船行事(大垣市)も登録された。

無形文化遺産は芸能や祭り、伝統工芸技術などが対象となり、有形の文化財の保護と継承を目的とした世界遺産とは異なる。日本の無形文化遺産は今回の「山・鈴・屋台行事」のほか、能楽や歌舞伎、和食、和紙など7件がある。

ユネスコは昨年12月1日、「山・鈴(ほこ)、屋台行事」を無形文化遺産に登録することを決めた。高山祭の屋台行事をはじめ、東北から九州まで18府県の33行事が対象となった。いずれも地域豊かな伝統行事ばかりだ。

岐阜県からは高山祭の屋台行事のほか、古川祭の起し太鼓・屋台行事(飛騨市)と大垣祭の船行事(大垣市)も登録された。

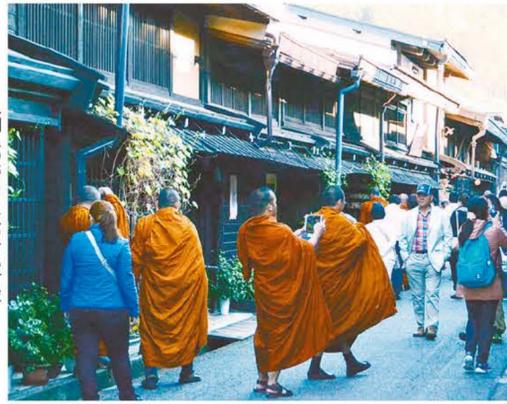
無形文化遺産は芸能や祭り、伝統工芸技術などが対象となり、有形の文化財の保護と継承を目的とした世界遺産とは異なる。日本の無形文化遺産は今回の「山・鈴・屋台行事」のほか、能楽や歌舞伎、和食、和紙など7件がある。



高山祭は、市の象徴であると同時に、当市の重要な観光資源のひとつでもあります。その屋台行事を支える屋台は、当市の貴重な文化財でもあります。今後さらにその付加価値を高めるとともに、将来にわたって保存し、後世に伝える。

高山祭は、市の象徴であると同時に、当市の重要な観光資源のひとつでもあります。その屋台行事を支える屋台は、当市の貴重な文化財でもあります。今後さらにその付加価値を高めるとともに、将来にわたって保存し、後世に伝える。

外国人宿泊者



外国人の姿も目立つ古い町並

16年は27%増の46万人 過去最高を記録 ベトナムが驚異的伸び

高山を中心とした周辺地域には白川郷や石川県の金沢、富山県の五箇山など、古くから日本を伝える歴史的建造物や自然、伝統工芸、食文化などが連綿と受け継がれている。これらの地域は国際的にも評価が高い。五箇山と白川郷の合掌造り集落はユネスコの世界遺産に登録され、飛騨高山もユネスコ無形文化遺産に登録され、俄然注目を浴びている。外国人も関心を示し、高山を訪れる観光客も増加傾向にある。

高山市によると、2016年の外国人延べ宿泊者数は前年比27%増の46万1253人となり、これまで過去最高を記録した。積極的な誘致に加え、フリーWiFiなど受け入れ態勢の整備も高を記録した。

16年の観光客数は前年比約4%増の45万1千人となり、これまで高だった07年の43万4千人を上回り、これも過去最高を記録した。

ちなみに、域のみならず、関東、中部、北陸を結ぶ広域ネットワークとしての重要な役割を担う路線だ。

高根トンネルの開通によって、飛騨路(飛騨街道)と木曾路(中山道)と伊那路を結ぶルートができる。木曾町観光協会はもちろんだが、飛騨・高山観光コンベンション協会も「新たな観光ルートとして期待できる」として、両組織は広域観光連携を視野に入れている。

既に、高山・木曾間の観光タクシープランも計画されており、両地域の距離はグッと縮まりそうだ。

■外国人宿泊者数の地域割合の推移 (延べ人数) 単位:人、%

年	アジア・中東	ヨーロッパ	北米	中南米	オセアニア	アフリカ	不詳	計
2010	100,687	52,521	16,004	3,619	13,733	436	—	187,000
2011	63,825	14,630	7,370	1,675	7,420	80	—	95,000
2012	103,260	23,980	11,264	2,342	9,692	462	—	151,000
2013	157,896	36,707	14,458	3,102	12,667	170	—	225,000
2014	168,023	52,709	18,962	4,016	16,221	585	19,806	280,322
2015	210,976	70,232	21,771	3,898	18,342	900	38,352	364,471
2016	285,409	90,135	26,119	4,194	25,282	328	29,786	461,253
前年比16/15	135・3	128・3	120・0	107・6	137・8	36・4	77・7	126・6

飛騨の大祭

飛騨一宮の神々が集う「飛騨の大祭」が5月5、6日、年振りとなる。飛騨の大祭は、主催する神

飛騨の神々集う 57年振りの斎行

社が飛騨国中の神社(神輿や祭行列)を招請して、天下泰平、五穀豊穡などを祈願する飛騨地方独自の祭りに「全国でも類を見ない神事」(飛騨一宮水無神社大祭奉賛会)の祭りにして、それ以来今

日に至るまで、飛騨各地の神社において不景気の時や災変時代に飛騨地方で発生した大規模一揆「大原騒動」によって荒廃した同社の神殿を大造営し(安永8年(1779年))、問い合わせは同奉賛会、0577(53)2501。